

# 2013年9月期 決算説明資料

2013年11月

**フィンテック グローバル株式会社**

(東証マザーズ:8789)

<http://www.fgi.co.jp/>

# **2013年9月期 通期業績 営業概況**

---

## 2013年9月期 事業総括

- **企業投資、投資銀行業務の2つを軸に事業展開**  
これに企業投資に係るアセットマネジメント、地方自治体の会計コンサルティング、再生可能エネルギー関連アレンジ、地域産業の振興支援等を含めて、複合的に事業を推進。
- **大型案件の投資回収**  
対象企業の業績が好調であり、さらなる企業価値向上が見込めるため、売却を見送り。次期以降の売却を企図。
- **不採算事業の見直しのため、上半期にグループ事業再編を実行**
  - **パブリック・マネジメント・コンサルティング (PMC) の一部事業譲渡**  
公会計ソフトの開発等の事業を譲渡。原価を低減し、公会計コンサルに注力
  - **フィンテックグローバル証券 (FGS) の全株式譲渡**  
投資銀行業務は当社に移管。プリンシパルインベストメントと密接に連携。
  - **FGIキャピタル・パートナーズ (FGICP) の株式一部譲渡、持分法適用関連会社化**  
ヘッジファンド運用は体制を整えるために一旦撤退
- **ベンチャーファンドFINTECH GIMV FUND,L.P. (FGF) について、実質的な支配関係がなくなり子会社に該当しないと判断し、連結の範囲から除外。当期より、外部出資者分が連結財務諸表に反映されず、当社出資持分相当額(FGI持分約45%)のみを計上。**

# 2013年9月期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)	2012年9月期 実績 (A)	2013年9月期 実績 (B)	前年同期比 (B) - (A)
売上高	2,038	1,603	△434
売上総利益	908	1,468	559
営業利益	△974	△31	943
経常利益	△915	88	1,003
当期純利益	△1,274	182	1,457

## ■業績概要

### ✓【売上高、売上総利益】

・FGIの企業投資のエグジット(投資回収)が売上貢献。売上高では、前期に525百万円の売上があった不動産投資回収や、322百万円の売上があったベンチャーファンドFGFのエグジットがなかったため減収となったが、売上総利益は増加(大型投資事案は継続保有としたため、大幅な売上増加はなかった)。

### ✓【販管費、営業利益、経常利益】

・子会社減少による経費減、のれん負担減少や貸倒引当金戻入等により、販管費は前期比で、20.4%減少。  
 ・売上総利益の増加、一般的な販管費圧縮にかかわらず、Craneの仲裁手続きにかかる費用の増大により、営業利益は黒字に届かず。  
 ・営業外収益に、為替差益125百万円を計上し、経常損益は黒字を確保。

### ✓【特別利益、当期純利益】

・パブリック・マネジメント・コンサルティングは、一部事業譲渡により、特別利益として事業譲渡益64百万円を計上。  
 ・フィンテックグローバル証券の全株式の譲渡等により、特別利益として関係会社株式売却益25百万円を計上。

# セグメント情報

(注)売上高はセグメント間取引を含む。

(単位:百万円)		2012年9月期	2013年9月期	前期比
1	投資銀行事業	売上高 932	737	△194
	営業利益	117	687	570
2	アセットマネジメント事業	売上高 226	214	△11
	営業利益	△148	35	184
3	その他投資先事業	売上高 881	509	△372
	営業利益	△217	△199	18
4	公共財関連事業	売上高 208	147	△60
	営業利益	△106	0	106
	調整額	売上高 △210	△5	204
	営業利益	△619	※1 △556	62
	連結P L 計上額	売上高 2,038	1,603	△434
	営業利益	△974	△31	943

※1: 上場維持費用、賃料並びにオフィス設備費用、人件費を含む管理費用等の連結調整金額

- 1** フィンテックグローバル: 企業投資は、当社自身で企業を発掘・投資するとともに、フィンテックアセットマネジメントの組成ファンド(FGI戦略投資ファンド)及びFINTECH GIMV FUND,L.P.(FGF)を通じて、潜在的な成長力を持った企業等に投資を継続。また、投資銀行業務では、多様化する顧客のニーズに対応するアレンジメントなどの様々な金融ソリューションを提供。
- 2** フィンテックアセットマネジメント: 外部投資家を招聘し有望企業・事業に投資するファンドを設立し、運営する事業の展開を拡大。この事業では、事業継承に係るファイナンスや、事業計画策定・経営管理業務等により企業を支援。また不動産を中心とするアセットマネジメントは、高齢者専用賃貸住宅の開発・運用案件などの受託を継続するとともに賃貸住宅の運用案件を新規受託したものの、当初より予定していた案件のエグジット等による受託資産の減少もあり、当期末の受託資産残高は6,024百万円となり、前期末からは微増に留まる。
- 3** ベルス: 主要顧客の社宅異動減少と業務委託料減額により、賃貸サービス部門・社宅業務部門の売上高は厳しい結果となる。持家サービス部門は景気回復や消費税増税の予測が追い風となり下期以降の住宅購入リクエストは堅調に推移し、新規に社員数30万人規模の顧客企業へ持家サービス導入が決定する等、来期以降の収益化へ明るい兆し。この結果、単体売上高は505百万円(前期比9.0%減)、営業利益は26百万円(前期比70.4%減)。  
Crane Reinsurance Limited: Hardy Underwriting Limited等との仲裁手続を継続しているが、これにより経費は前期比で大幅に増加。売上計上には至らず(前期も売上計上なし)、営業損失は226百万円(前期は430百万円の損失)。
- 4** パブリック・マネジメント・コンサルティング: 公会計パッケージソフトの開発等に係る事業の一部譲渡後、システム開発・保守に係る経費を大幅に削減。自治体に対する公会計導入コンサルティング事業に注力した結果、単体で初の黒字化を達成。

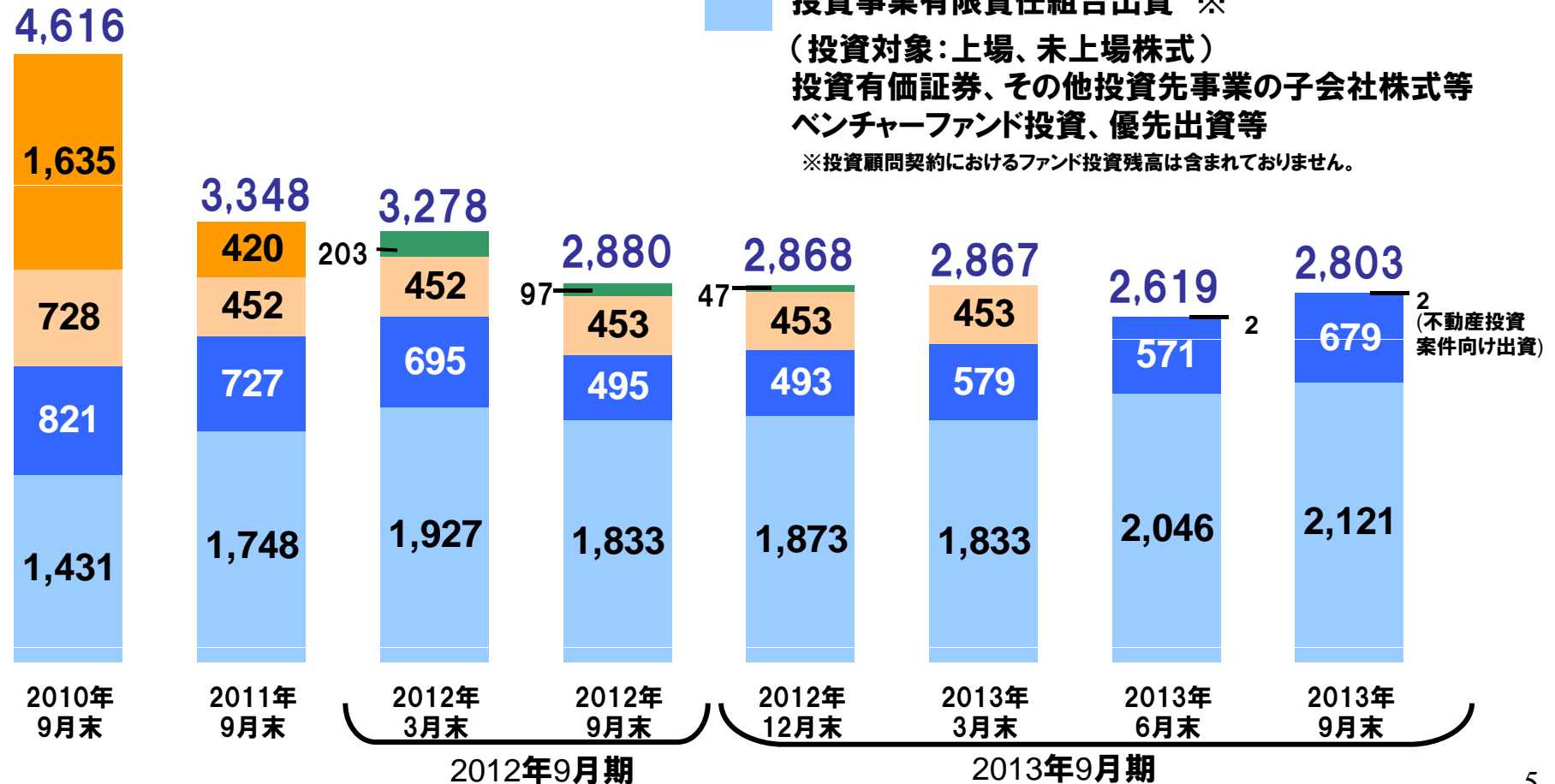
# プリンシパルインベストメントのポートフォリオの推移

(単位：百万円、全額引当の債権を除く金額)

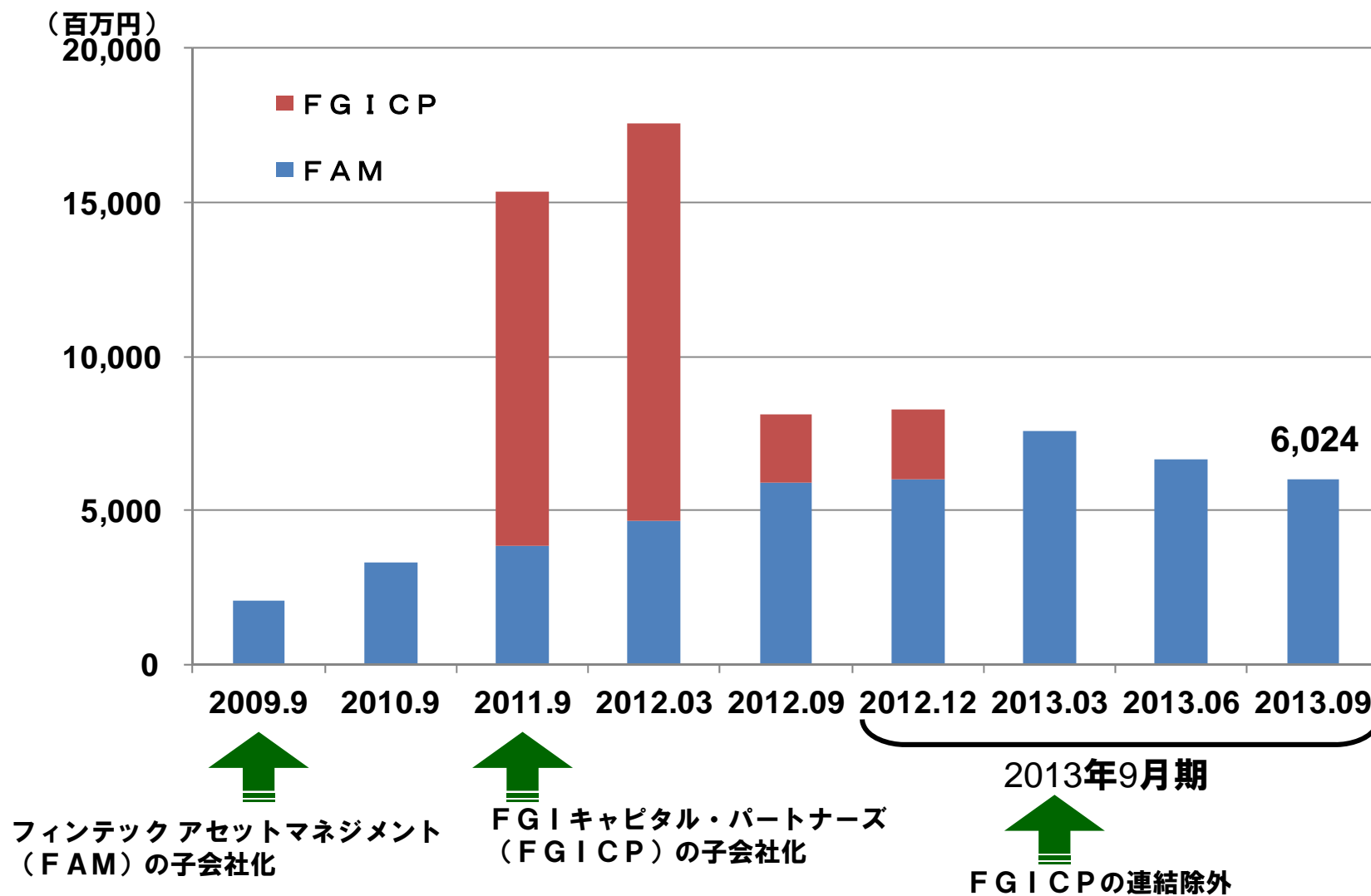
2013年9月期第1四半期よりベンチャーファンドのFINTECH GIMV FUND (FGF) を連結から除外しております。情報の連続性を保つため、2012年9月期以前についても、FGFを連結から除外したものと表示しております。また、FGF全体の投資残高は2,424万ドル(2013年6月末)で、FGIの持分は約45%となっております。

- オルタナティブファンドへの投資(当社グループが運用)
- 販売用不動産(証券化商品含む)
- 不動産投資案件向け貸付、出資
- コーポレートローン、事業資金貸付、社債引受
- 投資事業有限責任組合出資 ※  
(投資対象：上場、未上場株式)  
投資有価証券、その他投資先事業の子会社株式等  
ベンチャーファンド投資、優先出資等

※投資顧問契約におけるファンド投資残高は含まれておりません。



# アセットマネジメント事業の受託資産残高(AUM)の推移



\*当社が出資するFINTECH GIMV FUND (FGF) の資産額 (2013年6月末純資産27百万ドル) は含んでおりません

# 連結貸借対照表(概要)

(単位:百万円)	12年9月期	13年9月期	前期末比
流動資産	5,722	4,148	△ 1,573
現金及び預金	2,522	1,644	△ 877
営業投資有価証券	2,400	1,617	△ 782
営業貸付金	2,480	826	△ 1,654
その他	345	259	△ 85
貸倒引当金	△ 2,025	△ 199	1,826
固定資産	695	622	△ 73
有形固定資産	151	130	△ 21
無形固定資産	280	201	△ 78
投資その他の資産	263	290	26
資産合計	6,417	4,770	△ 1,647
流動負債	807	419	△ 388
短期借入金	40	26	△ 14
預り金	474	72	△ 401
未払金	136	101	△ 34
その他	157	219	62
固定負債	1,977	1,635	△ 342
社債	56	40	△ 16
保険契約準備金	1,648	1,406	△ 241
その他	272	188	△ 84
負債合計	2,785	2,054	△ 730
株主資本	2,543	2,688	145
その他の包括利益累計額	△ 180	—	180
新株予約権	18	2	△ 15
少数株主持分	1,252	25	△ 1,226
純資産合計	3,632	2,716	△ 916
負債・純資産合計	6,417	4,770	△ 1,647

1

・FINTECH GIMV FUND (FGF) の連結除外による現金/預金及び営業投資有価証券の減少  
 ・不動産投資案件の終了による営業投資有価証券の減少

2

・全額引当済の営業貸付金の減少とそれに対応する貸倒引当金の減少

3

・不動産投資案件の終了による預り金の減少

4

・FGFの連結除外による為替換算調整勘定のマイナスの解消

5

・FGFの連結除外による減少



# 連結損益計算書(概要)

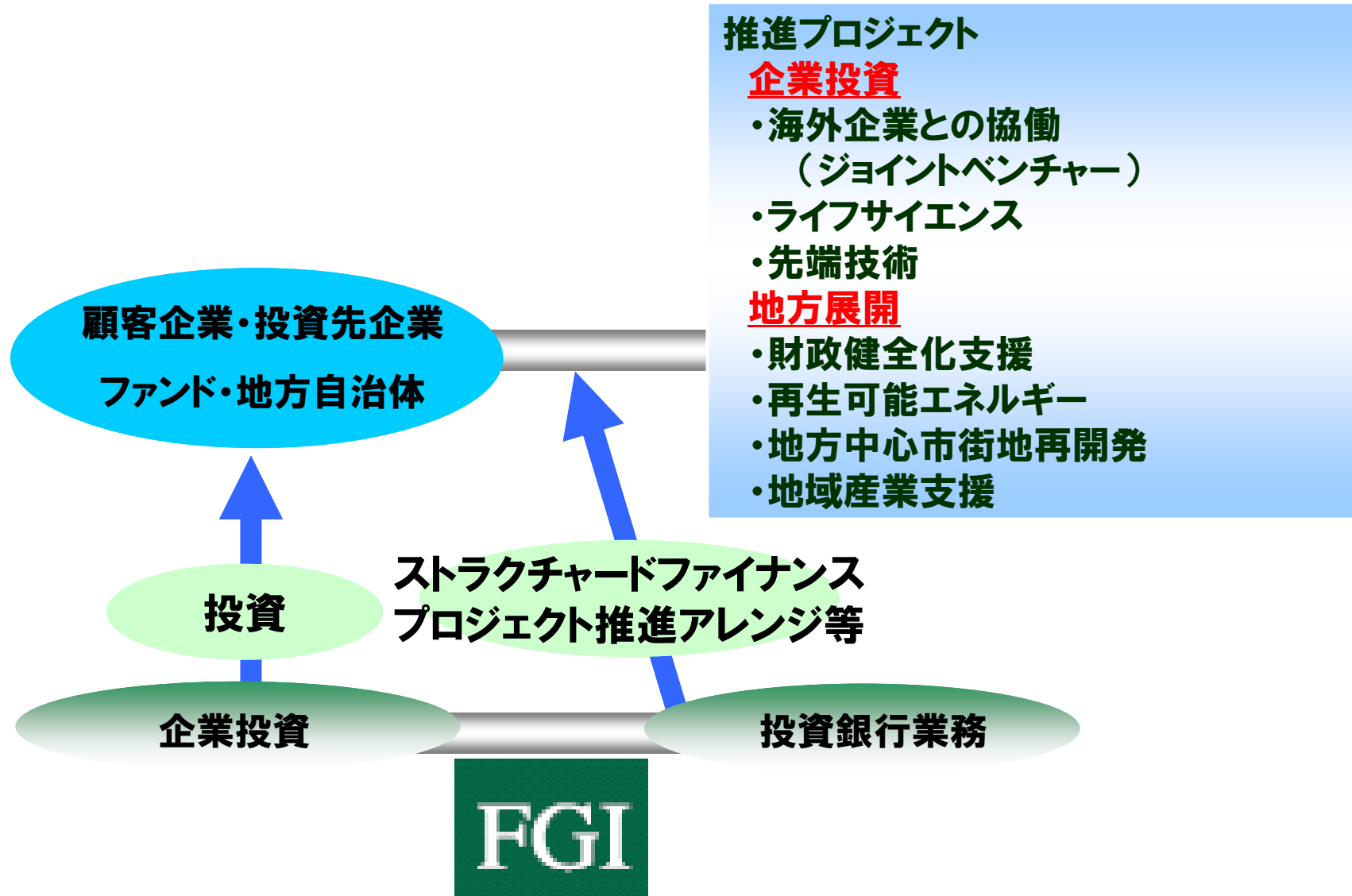
	2012年9月期 (前期)	2013年9月期 (当期)	前期比	前期比の主な要因 又は当期実績の内訳
売上高	2,038	1,603	△ 434	不動産投資案件やベンチャーファンドFGFのエグジットがなかったため減収。大型投資事案は投資先企業好調により継続保有。
売上原価	1,129	135	△ 994	前期計上の不動産投資回収等がなくなり、手数料収入等の売上げが中心となったため売上原価が大幅減少
売上総利益	908	1,468	559	
販売費及び一般管理費	1,883	1,500	△ 383	前期比: 人件費 104百万円減 貸倒引当金繰入額 157百万円減(回収等により引当繰入戻入りを計上) Crane経費 212百万円増加
営業利益	△ 974	△ 31	943	
営業外収益	68	134	66	前期比: 為替差益 123百万円増加
営業外費用	8	15	6	
経常利益	△ 915	88	1,003	
特別利益	3	113	109	当期内訳: PMCの事業譲渡益 64百万円 関係会社株式売却益 25百万円
特別損失	209	16	△ 193	
税金等調整前当期純利益	△ 1,121	185	1,306	
法人税等	31	6	△ 25	
少数株主利益又は少数株主損失(△)	121	△ 3	△ 125	FGFの連結除外により、これに係る少数株主利益は当期から計上せず。
当期純利益	△ 1,274	182	1,457	

# **2014年9月期 基本施策及び業績予想**

---

# 2014年9月期の事業展開

企業投資・投資銀行業務を核に、対象となる推進プロジェクトは、さらに多様化



## 2014年9月期 通期業績予想について

(単位：百万円)	2013年9月期 実績	2014年9月期 業績予想	前期比
売上高	1,603	2,100	497
売上総利益	1,468	1,700	232
営業利益	△31	200	231
経常利益	88	200	112
当期純利益	182	200	18

### 業績予想の主な前提

#### [事業別]

#### ◆投資銀行事業 (FGI)

- ・投資回収益については、大型案件のエグジットを含むが、かなり保守的に予想
- ・その他手数料収入等は、営業社員の補充／補強により経費は増加するが、前期より大幅な増収増益を見込む

#### ◆アセットマネジメント事業 (FAM)

- ・前期水準ベースの予想値に投資回収による成功報酬をプラスして見込む

#### ◆公共財関連事業 (PMC)

- ・前期並みの利益水準と予想（前期にあった特別利益は考慮せず）

#### ◆その他投資先事業 (ベルス／Crane)

- ・ベルスは消費税増税の駆け込み需要を考慮し、前期水準より若干プラスで見込む
- ・Craneは仲裁結果次第だが、仲裁費用の支払負担等を考慮した現段階で考えられる範囲の予想数値で織りこむ

#### ◆販売管理費については、前期水準にて予想

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 期末配当の実施

## ■ 2013年9月期 期末配当の概要

- ✓ 当社普通株式 1株につき金50円 配当総額 60,462,150円  
(支払開始日 2013年12月24日)
- ✓ 経営基盤の強化と拡大する事業を迅速かつ確実に捉えるために、内部留保金を維持することに留意しつつ、株主の皆様には利益を還元することが配当政策上重要であると考え、業績の状況や将来の事業展開などを総合的に勘案して配当することを基本としています。  
当期の業績や今後の業績見通し、内部留保、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、1株当たり50円の期末配当を実施する予定です。

(注) 2013年9月期 期末配当については、2013年12月20日開催予定の第19期定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定であります。

## ■ 2014年9月期の配当予想について

- ✓ 今後も、業績動向及び事業拡大に係る資金需要等や、十分な内部留保金を維持することに留意しつつ、株主の皆様には利益を還元していく予定であり、2014年9月期の期末配当予想については2013年9月期に引き続き1株につき50円とさせていただきます。

# 参考資料①

---

- 2013年9月期の投資先企業（抜粋）

# 2013年9月期の投資先企業(抜粋)

## ■ FGIのプリンシパル インベストメント

### 虎ノ門ハム株式会社【新規投資先】

虎ノ門ハム株式会社は、2013年6月、米国最大級のハムブランドを擁するThe HoneyBaked Ham Companyより、日本におけるHoneyBaked(ハニーベイクド)ブランドを使った各種事業における独占的営業ライセンスの供与を受け、事業を開始しました。

虎ノ門ハム株式会社は、FGIとポール・クラフト氏(スターバックスCPGインターナショナル合同会社元代表社員)の共同出資会社であり、当社は事業支援により同社の発展に貢献して参ります。

HONEYBAKEDHAM<sup>®</sup>  
.....



### 株式会社FookyZ【新規投資先】

FookyZ

株式会社FookyZ は、Gather 事業(グループ制‘思い出’クラウド・ストレージ・サービス Gather の開発、運営事業)、各種インターネットコンサルティング事業を行うベンチャー企業です。

FGIは、同社への出資を通して、写真系コミュニティウェアとしてユニークな機能を持つiOS向けアプリの「Gather」の開発を支援し、事業成長に寄与していきます。

# 2013年9月期の投資先企業(抜粋)

## ■ベンチャーキャピタル投資 (FinTech GIMV FUND,L.P.の投資先)

### Alvine Pharmaceuticals, Inc. 【新規投資先】

Alvine Pharmaceuticalsはグルテンによって引き起こされる自己免疫疾患であるセリアック病に対する治療薬を開発する企業です。Alvine社は同社開発中のALV-003の第二相臨床試験で人での有効性を確認しております。

### ScaleMP, Inc. 【新規投資先】



ScaleMPは、ハイエンドのコンピューターを仮想化する技術を開発しています。この仮想化により、高パフォーマンスとTCO (total cost of ownership、コンピュータシステムの導入、維持・管理などにかかる費用の総額)の低減が可能となります。

### 株式会社モフィリア 【既存投資先】

「安心・安全・快適な社会を実現する」を目標として、小型・高速かつ高精度で快適な操作性を実現した指静脈認証機器の開発・製造・販売を行っております。

### Histogenics Corporation 【既存投資先】

スポーツ・事故等による膝軟骨損傷に対して、新生関節軟骨移植の再生医療ビジネスを展開する企業です。

### SFJ Pharmaceuticals Inc. 【既存投資先】



パートナー製薬企業に革新的な資金調達アプローチを提供しており、エーザイやファイザーといった大手製薬企業と有望な新薬候補品の共同開発契約を締結しています。

### 株式会社アール・アイ 【既存投資先】



稀少な国産ユーティリティソフトメーカーです。法人向けの販売チャンネル開拓に成功し、導入700社・20000ライセンスを販売しております。



## 参考資料②

- 個別貸借対照表、個別損益計算書
- 子会社単体業績の推移
- 連結業績推移（6期分）
- 会社概要

# 個別貸借対照表

## 資産の部

	12年9月期	13年9月期	増減
<b>流動資産</b>	<b>1,993,193</b>	<b>2,833,305</b>	<b>840,112</b>
現金及び預金	557,319	472,887	△ 84,432
売掛金	6,090	1,360	△ 4,729
営業投資有価証券	846,977	1,613,125	766,147
営業貸付金	2,496,441	847,078	△ 1,649,363
短期貸付金	67,527	20,177	△ 47,350
その他	46,964	98,965	52,001
貸倒引当金	△ 2,028,127	△ 220,288	1,807,839
<b>固定資産</b>	<b>2,487,118</b>	<b>1,151,754</b>	<b>△ 1,335,364</b>
有形固定資産	137,500	118,958	△ 18,541
無形固定資産	5,838	3,046	△ 2,791
投資その他の資産	2,343,780	1,029,749	△ 1,314,030
<b>資産合計</b>	<b>4,480,312</b>	<b>3,985,060</b>	<b>△ 495,252</b>

## 負債の部

(単位: 千円)

	12年9月期	13年9月期	増減
<b>流動負債</b>	<b>1,731,948</b>	<b>383,983</b>	<b>△ 1,347,964</b>
短期借入金	1,219,684	265,100	△ 954,584
未払金	28,636	26,833	△ 1,802
預り金	454,880	55,359	△ 399,521
その他	28,746	36,690	7,944
<b>固定負債</b>	<b>74,716</b>	<b>936,869</b>	<b>862,152</b>
長期借入金	—	841,684	841,684
退職給付引当金	28,394	56,962	28,567
その他	46,322	38,222	△ 8,100
<b>負債合計</b>	<b>1,806,665</b>	<b>1,320,852</b>	<b>△ 485,812</b>

## 純資産の部

<b>株主資本</b>	<b>2,655,642</b>	<b>2,662,156</b>	<b>6,514</b>
資本金	2,312,517	2,312,517	0
資本剰余金	14	14	0
利益剰余金	343,109	349,624	6,514
新株予約権	18,005	2,050	△ 15,954
<b>純資産合計</b>	<b>2,673,647</b>	<b>2,664,207</b>	<b>△ 9,440</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,480,312</b>	<b>3,985,060</b>	<b>△ 495,252</b>

# 個別損益計算書

(単位: 千円)

	2012年9月期	2013年9月期	増減
売上高	958,337	916,513	△ 41,824
1 売上原価	407,719	8,723	△ 398,995
売上総利益	550,618	907,789	357,171
2 販売費及び一般管理費	760,600	718,703	△ 41,897
営業利益又は損失(△)	△ 209,982	189,085	399,068
営業外収益	64,317	39,245	△ 25,072
営業外費用	3,368	3,571	203
経常利益又は損失(△)	△ 149,033	224,759	373,792
特別利益	3,673	30,773	27,099
特別損失	953,085	134,362	△ 818,723
税引前当期純利益又は純損失(△)	△ 1,098,445	121,170	1,219,616
法人税等	1,210	△ 6,268	△ 7,478
当期純利益又は純損失(△)	△ 1,099,655	127,439	1,227,094

1 前期にあった不動産投資回収等はなく、手数料収入等の売り上げが中心となったため売上原価が大幅に減少

2 組織改正 (FGSの一部吸収) に伴い人件費増となるも、支払手数料の削減及び引当済の貸付金の回収等により貸倒引当金繰入額をマイナスで計上したことによる減少

# 子会社単体業績の推移

単位：百万円

ベルス	2012年9月期			2013年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	253	302	555	248	256	505
売上総利益	212	261	474	207	216	424
経常利益	25	58	83	2	3	5

パブリック・ マネジメント・ コンサルティング	2012年9月期			2013年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	118	89	208	78	69	147
売上総利益	27	24	51	33	26	60
経常利益	△53	△53	△107	△4	9	4

フィンテック アセット マネジメント	2012年9月期			2013年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	54	82	136	118	73	191
売上総利益	54	81	135	117	73	191
経常利益	△16	△4	△21	36	△7	29

Crane Reinsurance	2012年9月期			2013年9月期		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	—	—	—	—	—	—
売上総利益	7	△396	△388	9	17	27
経常利益	8	△428	△420	△19	△105	△124

## 連結業績の推移

決算年月		2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期
売上高	(百万円)	14,165	10,385	3,465	6,988	2,038	1,603
売上総利益	(百万円)	8,314	△ 7,326	935	3,509	908	1,468
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	△ 9,114	△ 21,197	△ 2,604	1,220	△ 915	88
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	△ 7,160	△ 12,091	△ 2,172	1,404	△ 1,274	182
純資産額	(百万円)	17,426	5,447	3,164	4,870	3,632	2,716
総資産額	(百万円)	79,021	15,766	7,352	7,682	6,417	4,770
1株当たり純資産額	(円)	13,911.77	3,851.31	2,024.72	3,152.33	1,981.69	2,222.87
1株当たり当期純利益金額 又は当期純損失金額(△)	(円)	△ 5,937.48	△ 10,008.43	△ 1,798.88	1,168.69	△ 1,069.83	152.06
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	(円)	—	—	—	1,168.05	—	152.06
自己資本比率	(%)	21.3	29.5	33.3	48.9	36.8	56.4
自己資本利益率	(%)	△ 34.2	△ 112.7	△ 61.2	45.3	△ 41.7	7.2
株価収益率	(倍)	—	—	—	2.6	—	21.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	13,155	8,333	626	1,953	959	△ 464
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 12,099	7,687	△ 2,281	△ 631	80	85
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 6,743	△ 19,674	△ 3,376	△ 413	△ 233	△ 128
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	9,500	5,811	829	1,711	2,522	1,644
従業員数(連結) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	112(7)	117(16)	72(13)	70(17)	60(19)	51(13)
従業員数(単体) (外、平均臨時雇用者数)	(人)	83(5)	50(5)	40(2)	15(2)	20(3)	26(3)

# 会社概要

会社名	フィンテック グローバル株式会社 (FinTech Global Incorporated)			
本店所在地	東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス19F			
設立年月日	1994年12月7日			
上場年月日	2005年6月8日、東京証券取引所マザーズ (Code:8789)			
資本金	2,312,517,793円、発行済株式数1,209,243株(2013/9/30現在)			
連結純資産	2,716百万円(2013/9/30現在)			
連結総資産	4,770百万円(2013/9/30現在)			
役員	代表取締役社長	玉井 信光	常勤監査役	二宮 幸一
	取締役会長	ロバート・ハースト	監査役	萩原 啓史
	取締役	鷺本 晴吾	監査役	大山 亨
	取締役	三橋 透		
	取締役	山中 秀介		
大株主	玉井 信光	240,955株	(19.93 %)	
	藤井 優子	52,014株	( 4.30 %)	
	青島 正章	16,910株	( 1.40 %)	
	日本証券金融株式会社	16,857株	( 1.39 %)	
	SIX SIS LTD.	16,365株	( 1.35 %)	
	(2013/9/30現在)			

# 会社概要

<b>従業員数</b>	連結51名、単体26名（2013/9月末現在／臨時従業員を除く）		
<b>主な子会社</b>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="622 411 1384 703">                     フィンテック アセットマネジメント株式会社                      株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング                      株式会社ベルス                      フィンテック グローバル鑑定株式会社                      フィンテックキャピタルリスクソリューションズ株式会社                      株式会社公共ファイナンス研究所                      株式会社公共財アセットマネジメント                      フィンテックグローバル トレーディング株式会社                 </td> <td data-bbox="1435 411 1850 515">                     海外子会社：                      Crane Reinsurance Limited                      飛堤克投資諮詢(上海)有限公司                 </td> </tr> </table>	フィンテック アセットマネジメント株式会社 株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング 株式会社ベルス フィンテック グローバル鑑定株式会社 フィンテックキャピタルリスクソリューションズ株式会社 株式会社公共ファイナンス研究所 株式会社公共財アセットマネジメント フィンテックグローバル トレーディング株式会社	海外子会社： Crane Reinsurance Limited 飛堤克投資諮詢(上海)有限公司
フィンテック アセットマネジメント株式会社 株式会社パブリック・マネジメント・コンサルティング 株式会社ベルス フィンテック グローバル鑑定株式会社 フィンテックキャピタルリスクソリューションズ株式会社 株式会社公共ファイナンス研究所 株式会社公共財アセットマネジメント フィンテックグローバル トレーディング株式会社	海外子会社： Crane Reinsurance Limited 飛堤克投資諮詢(上海)有限公司		
<b>グループ事業内容</b>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="622 810 936 884">                     I 投資銀行事業                      III その他投資先事業                 </td> <td data-bbox="1167 810 1570 884">                     II アセットマネジメント事業                      IV 公共財関連事業                 </td> </tr> </table>	I 投資銀行事業 III その他投資先事業	II アセットマネジメント事業 IV 公共財関連事業
I 投資銀行事業 III その他投資先事業	II アセットマネジメント事業 IV 公共財関連事業		
<b>主要取引銀行</b>	みずほ銀行 リそな銀行 三井住友銀行 東京三菱UFJ銀行		
<b>許認可等</b>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="595 1082 1249 1329"> <u>フィンテック グローバル(株)</u>                      金融商品取引業（第二種、投資助言・代理業）                      関東財務局長（金商）第1469号                      貸金業：東京都知事（2）第31237号                      宅地建物取引業                      登録番号：東京都知事（2）第88189号                 </td> <td data-bbox="1272 1082 1995 1313"> <u>フィンテック アセットマネジメント(株)</u>                      金融商品取引業（投資運用業、投資助言・代理業）                      関東財務局長（金商）第2014号                      総合不動産投資顧問業 総合一第74号                      宅地建物取引業 東京都知事（2）第86357号                      貸金業：東京都知事（2）第31145号                 </td> </tr> </table>	<u>フィンテック グローバル(株)</u> 金融商品取引業（第二種、投資助言・代理業） 関東財務局長（金商）第1469号 貸金業：東京都知事（2）第31237号 宅地建物取引業 登録番号：東京都知事（2）第88189号	<u>フィンテック アセットマネジメント(株)</u> 金融商品取引業（投資運用業、投資助言・代理業） 関東財務局長（金商）第2014号 総合不動産投資顧問業 総合一第74号 宅地建物取引業 東京都知事（2）第86357号 貸金業：東京都知事（2）第31145号
<u>フィンテック グローバル(株)</u> 金融商品取引業（第二種、投資助言・代理業） 関東財務局長（金商）第1469号 貸金業：東京都知事（2）第31237号 宅地建物取引業 登録番号：東京都知事（2）第88189号	<u>フィンテック アセットマネジメント(株)</u> 金融商品取引業（投資運用業、投資助言・代理業） 関東財務局長（金商）第2014号 総合不動産投資顧問業 総合一第74号 宅地建物取引業 東京都知事（2）第86357号 貸金業：東京都知事（2）第31145号		

## 免責条項

本資料は、当社およびFGIグループの2013年9月期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、有価証券にかかわる売買、金融商品取引に係る契約等いかなる商品の勧誘をするものではありません。

本資料に記載されている、各種資料・文書には、当社またはFGIグループに関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする歴史的事実以外の事実を記載しているものが含まれていることがあります。これらの歴史的事実以外の事実(以下、「将来情報」ということがあります)の記載は、当社またはFGIグループが入手した情報に基づく、当該資料・文書の日付(または当該資料・文書に別途明示された日付)時点における予測、期待、想定、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・目標設定等を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。したがって、これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的に不正確であり、将来実現しないという可能性があります。その原因となりうるリスクや要因は多数あります。将来情報は、将来発生する事象、リスク、不確実性を内包する要因を含んでおり、そうした前提は、当社またはFGIグループの実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。かかる要因には、日本国、米国、アジアあるいはその他の国・地域における経済状況の悪化、不動産価値または株価の下落、FGIグループの貸出先の産業分野における企業破綻の増加やその他問題の発生、当社の経営統合およびコスト削減期待の実現の困難化または遅延、競争の激化、FGIグループの業務に関わる法令規則の改正、FGIグループにとって不利益となる日本国経済その他の政策の変更が含まれます。

なお、将来情報に関する記述を含む資料・文書が本資料に記載されている間においても、当該将来情報は上記のとおり当該資料・文書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。



